

講演会開催のご案内

「ものづくりの未来を拓く知財戦略」

名古屋圏をとりまく産業構造が大きく変化中、新分野・新事業への展開を考えるものづくり企業にとって、技術の基盤となる知的財産の重要度は増えています。しかし、企業経営者の方からは、「知的財産の重要性は理解できるが、企業戦略の中でどう活用するかイメージが持てない」、また、「どの技術や製品を知的財産としたら良いのか分からない」等、悩みを伺います。そこで、企業における知財戦略の方向性を決める一助となすため、講演会を下記要領にて開催します。ご多用中ではございますが、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

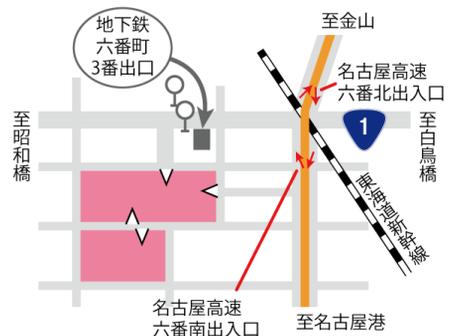
講演会プログラム

- 13:15～13:20 開催挨拶： 名古屋市工業研究所長 浅尾文博
- 13:20～14:20 講演：「事業を成功へ導くためのオープン・クローズ戦略」
弁理士会東海支部 弁理士 南島 昇氏
- 14:20～14:40 講演：「知財に係る支援制度のご案内」
中部経済産業局 特許室 特許係長 市来知晃氏
- 14:40～14:55 休憩
- 14:55～15:15 講演：「知財に関連した技術支援」
材料技術部 有機材料研究室 高木康雄
- 15:15～15:45 講演：「企業における特許戦略」
株式会社不二機販 代表取締役 宮坂 四志男氏
- 15:45～16:15 講演：「包装機械の開発と特許戦略」
株式会社フジキカイ 開発研究室 グループリーダー 井上清和氏

開催日：平成28年9月8日(木)

場所：名古屋市工業研究所
第1会議室

名古屋市熱田区六番三丁目4-41



参加費：無料、定員70名(先着)

申込み方法：参加者の氏名、企業名、部署名、役職、電話番号、メールアドレス、メルマガ配信(裏面参考)の有無を下記アドレス【見出し：特許講演会参加希望】かFAX(裏面利用)にて申込み下さい。

kikaku@nmiri.city.nagoya.jp

主催 名古屋市工業研究所、日本弁理士会東海支部

共催 中部経済産業局

後援 名古屋商工会議所、公益財団法人 名古屋産業振興公社

ファックス送り先番号：052-654-6788

注) FAX番号は正確にお願いします。

名古屋市工業研究所 支援総括室 行

<技術講演会FAX申込書>

企業・団体名： _____

部署・役職名： _____

参加者氏名： _____

Tel:

Fax:

E-mail:

(メルマガ登録: 希望する 希望しない)

※本情報は本講演会に関連する連絡等にものみ使用させていただきます。

お問い合わせ先: 工業研究所 支援総括室 中野 052-654-9847

講演概要

「事業を成功へ導くためのオープン・クローズ戦略」 南島 昇氏

事業の成功には、知的財産の管理が欠かせません。一方、知的財産の過剰な保護は、技術の普及を妨げ、事業の成功の足かせになる側面もあります。本講演では、実例を交えオープン・クローズ戦略を解説します。

「知財に係る支援制度のご案内」 市来知晃氏

近年ますます重要性を増す『知財』に関する取り組みとして、政府においては、知財戦略の強化を目指す支援メニューの拡大に取り組んでいます。本講演では、近年より開始した、海外係争に係る支援、知財情報を活用した技術動向の分析といった、従来支援施策とはアプローチを変えたユニークな新制度を紹介いたします。

「知財に関連した技術支援」 高木康雄

産業技術は、研究開発の積み重ねや改良により、進化しています。本講演では、工業研究所の中小企業・技術支援の一環として、ある企業様とともに行いました既存の特許発明を利用した新製品開発への取り組み事例などについて紹介します。

「企業における特許戦略」 宮坂 四志男氏

知財経営に至った経緯やWPC処理とショットピーニングとの違いについて説明します。また、商社から知財経営会社へ、知財活用の考え方とその状況について説明します。WPC処理及びPIPチタンの実用例の紹介。

「包装機械の開発と特許戦略」 井上清和氏

フジキカイの包装機械開発における新技術を投入、且つ、特許取得の連動に関する説明。及び、積極的に産学連携も行っており共同研究の実績について説明します。

NMIRI技術ニュース(メールマガジン)のご案内

名古屋市工業研究所では、当所情報の迅速な発信のため、メールマガジンとして「NMIRI技術ニュース」を配信しております。メールマガジンでは、当所の実施事業、研究成果、技術支援事業、イベント、研修案内等を掲載し、月1回お届けしています。配信をご希望の際は、企業名、氏名、メールアドレスを右記アドレス宛に、ご連絡下さい。 kikaku@nmiri.city.nagoya.jp